

道風記念館  
館蔵品展

# 一回性の美学

一点一画すべてが一回きり。その潔さが書の魅力。

【展示品の作者】  
丹羽海鶴 服部擔風 豊道春海 川村驥山 菱湖  
清水比庵 藤岡保子 長谷川流石 林 楽園  
仲田幹一 手島右卿 野中鳴雪 堀 桂琴  
藤田東谷 伊藤参州 松田江畔 宮本竹選  
坪井正庵 中林子鶴 井野吟紅 長谷川牧風  
山川昌泉 武内幽華 中村立強



手島右卿

令和7年

4月23日(水) — 7月13日(日)

休館日 月曜日(祝休日の場合は翌平日)

開館時間 午前9時—午後4時半

観覧料 一般100円、高校・大学生50円、中学生以下無料

展示品解説

5月10日(土)・6月1日(日)

各日 午前10時半—11時、午後2時—2時半

学芸員が初心者向けに展示品の解説をします。

事前予約は不要です。お気軽にお越しください。



春日井市道風記念館

〒四八六-0932 愛知県春日井市松河戸町五十九-三

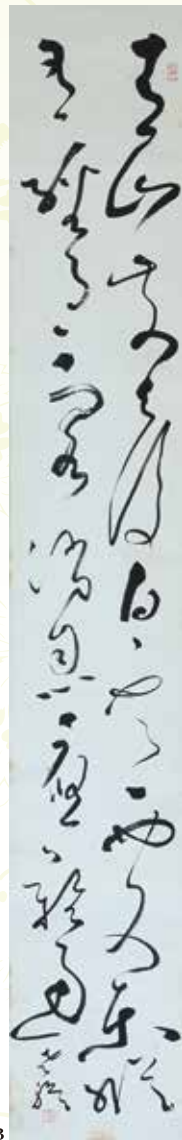
電話 〇五六八-八二六一〇

<https://www.city.kasugai.jp/shisetsu/bunka/rofu/index.html>

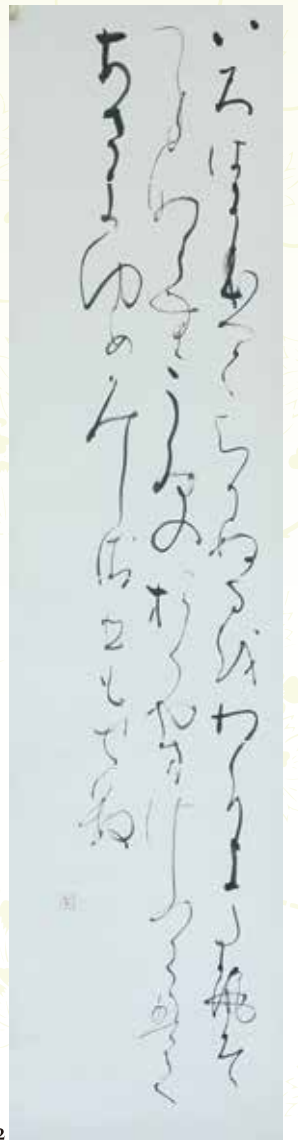
# 一回性の美学



1



3



2



4

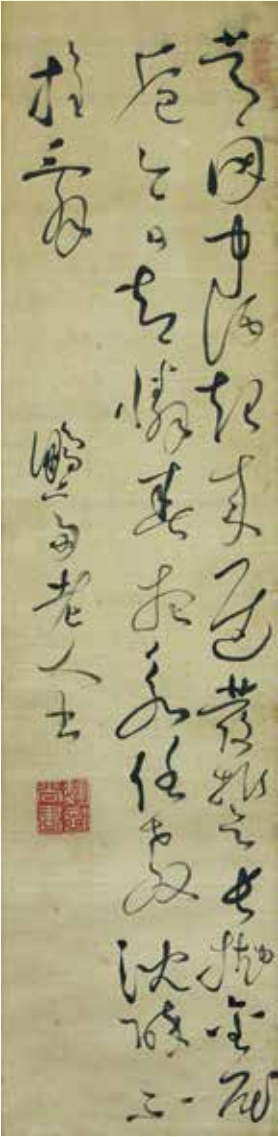
筆で書いた線の軌跡が「書」です。いちど書いた線の上から線を重ねて修正することは基本的にはありません。二度と同じ作品が生まれないのももちろん、一点一画すべてが一回きりのものなのです。

そして書は、その筆脈を多くの人々が共有できるところに大きな特徴があります。書には筆順があり書き直しをしないため、鑑賞者が筆の動きを読み取り、時間の経過をたどって作品が仕上がる様を追体験することができます。たとえ古い時代に書かれたものからでも、書いた人の息づかいを感じる事ができるのです。

今回の館蔵品展では、筆の動きを読み取りやすい行書・草書の作品や、淡墨で書かれた作品を中心に展示します。書においての「一回性」という特徴をここに留めながら作品を鑑賞してみてください。書のおもしろさ、奥深さを感じるきっかけとなれば幸いです。



5



6



7

- 1 藤田東谷
- 2 藤岡保子
- 3 川村驥山
- 4 仲田幹一
- 5 伊東参州
- 6 亀田鵬齋
- 7 清水比庵



## 春日井市道風記念館

〒四八六〇九三一 愛知県春日井市松河戸町五十九-三  
 電話〇五六八-八二六-一一〇  
<https://www.city.kasugai.lg.jp/shisetsu/bunka/rofu/index.html>